

グランアレグリア

44,266票



2021年 マイルチャンピオンシップ(GI)

連覇で去った伯楽、最後の傑作

タイキシャトル、シンボリクリスエス、ゼンノロブロイなど多くの活躍馬を育て、2022年に引退した藤沢和雄調教師の最後の傑作と言えるのが名牝グランアレグリア。その才能は2歳時から特別な輝きを放っていた。サウジアラビアロイヤルC勝ちから臨んだのは牝馬限定戦の阪神ジュベナイルフィリーズではなく牡馬と戦う朝日杯フューチャリティS。3着に敗れたが、その挑戦は鮮烈な印象を残した。

3歳春に桜花賞制覇。NHKマイルカップは4位入線後、走行妨害で5着に降着となるが、ひと息入れた暮れには阪神Cを5馬身差で圧勝し、力強く復活を果たす。翌4歳は高松宮記念こそ惜敗するも、安田記念でアーモンドアイに2馬身半差の完勝。秋もスプリンターズSとマイルチャンピオンシップを連勝と、その才能を完全開花させた。

5歳となった2021年は2000米への挑戦でも沸かせた。大阪杯は

重馬場も響いてか4着だったが、ヴィクトリアマイルは4馬身差の圧勝で、史上初の古馬芝マイルGI完全制覇を達成した。続く安田記念はアタマ差2着、秋初戦の天皇賞(秋)も3着と、生涯唯一の連敗。そして迎えたのが、引退レースのマイルチャンピオンシップだった。

3歳馬ホウオウアマゾンが引っ張る流れを、グランアレグリアは中団やや後方で追走。馬群の外を余裕の手応えて回りながら直線を向くと、まるでその現役生活の集大成のような末脚で次々と他馬たちを交わしていった。最後は3歳のシュネルマイスター、ダノンザキッド、そして2年前の勝ち馬インディチャンプらによる2着争いを3/4馬身差突き放してゴール。史上6頭目となる連覇を果たし、この年、2年連続でJRA賞最優秀短距離馬の栄誉に輝いた。

グランアレグリアが有終の美を飾ったこの勝利は、翌年の2月で定年引退となった藤沢和雄調教師にとっても最後のGI制覇に。短距離女王は、自身を育てた伯楽とともに惜しまれつつターフを去った。

第38回 マイルチャンピオンシップ(GI)

2021年11月21日 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 曇・良 16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	グランアレグリア	牝5	55	C.ルメール	藤沢 和雄	1:32.6	①	⑫⑧
2	シュネルマイスター	牡3	56	横山 武史	手塚 貴久	3/4	②	⑧⑧
3	ダノンザキッド	牡3	56	川田 将雅	安田 隆行	1/2	⑤	⑧⑧

第37回 マイルチャンピオンシップ(GI)

2020年11月22日 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 曇・良 17頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/差	人気	通過順位
1	グランアレグリア	牝4	55	C.ルメール	藤沢 和雄	1:32.0	①	⑤⑤
2	インディチャンプ	牡5	57	福永 祐一	音無 秀孝	3/4	③	⑦⑤
3	アドマイヤーズ	牡4	57	川田 将雅	友道 康夫	クビ	⑥	③⑫

グランアレグリア Gran Alegria

2016年1月24日生 牝 鹿毛

父:ディーピンパクト 母:タピッツフライ 母の父:Tapit
生産:安平・ノーザンファーム 馬主:有限会社 サンデーレーシング
通算成績:15戦9勝

主な勝ち鞍

- 2021年 マイルチャンピオンシップ(GI)、ヴィクトリアマイル(GI)
- 2020年 マイルチャンピオンシップ(GI)、スプリンターズS(GI)、安田記念(GI)
- 2019年 桜花賞(GI)、阪神C(GII)
- 2018年 サウジアラビアロイヤルC(GIII)



2020年安田記念(GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
1位:グランアレグリア(44,266票)

2^位 **タイキシャトル** 23,092票



1998年、フランスのG1・ジャックルマロワ賞を勝利し、帰国初戦となった本競走を5馬身差で圧勝した。前年の97年も2馬身半差勝利。芝1600m戦では5戦全勝と圧倒的だった。

3^位 **オグリキャップ** 17,063票



オグリキャップ(左)

1989年の優勝馬。直線、先を行くバンブーメモリーに猛烈な勢いで迫ると、最後はハナ差先にゴールした。連闘で挑んだ翌週のジャパンカップではホーリックスのクビ差2着。

4^位 **デュランダル** 15,080票



2004年の本競走を最終コーナー13番手から、前年の03年には15番手から直線で末脚を繰り出して鮮やかな差し切り勝ちを収めた。馬名はフランスの叙事詩に登場する聖剣の名から。

5^位 **ダイワメジャー** 11,997票



2007年の本競走で、スーパーホーネットの猛追をクビ差凌いで優勝。前年の06年もダンスインザムードにクビ差の勝利で、僅差ながら2年連続できっちり1番人気に应运てみせた。



特設サイト